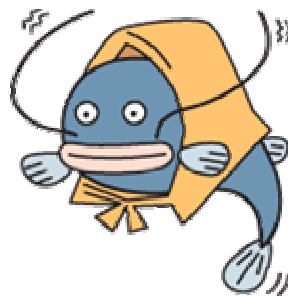


緊急地震速報 なまずきん

マンスリー レポート
2008年8月号



発行元 株式会社 ハレックス



気象庁、平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震における 緊急地震速報の利活用状況についての聞き取り調査を実施

気象庁は、平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震における緊急地震速報の利活用状況について、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県の各地方公共団体、専用の受信端末を利用している学校や幼稚園、及び新聞等で利活用状況が報道された事業所に対して聞き取り調査を行いました。

それによりますと、震源からやや離れた数秒以上の猶予時間があったところでは、有効に活用されている事例が多く見られ、専用の受信端末を整備した幼稚園や保育所、事業所では、放送等により周知し、園庭や倉庫外に退避するなどして、園児や職員の身の安全を確保が行われたとのことでした。



具体的な利活用として、以下のような事例が紹介されています。

- 仙台空港（宮城県名取市）
表示器を参考に、管制官が航空機に対して上空で待機するよう指示した。
- 山形県庄内町
J-ALERT で受信し、防災行政無線で放送した。
- 幼稚園や保育所（宮城県仙台市3箇所、石巻市、大崎市）
専用端末で受信し、園児らを安全な場所に誘導し、身の安全を確保した。
- 幼稚園（福島県伊達市）
保育室内のテレビで知り、保育室内の園児を集めて、身の安全を確保した。訓練どおり行動できた。
- 中学校（宮城県白石市）
専用端末で受信し、校内放送が流れた。学校にいた生徒は、机の下にもぐって身の安全を確保した。
- 小学校（宮城県仙台市）
専用端末で受信したが、土曜日だったため、校内放送は流さなかった。職員が机の下に入ろうとしたが入れず、落下物に気をつけた。
- 製造関係（宮城県大衡村）
専用端末で受信し、また、自営の地震計も動作したことから、館内放送及びガスの緊急遮断を実施した。放送がS波到達の4.2秒前だったため、退避行動をとろうとした際には大きな揺れが来たと思われる。
- 流通関係（宮城県仙台市）
専用端末で受信し、館内放送を実施。倉庫内にいた作業員に連絡し、屋外に退避。

なまずきんの働き (2008年7月)

【発信数概要】

緊急地震速報（予報）が 63 個の地震に対し発信され、総数は 348 通でした。平成 18 年 8 月に先行運用が始まってからの月平均データと比較し

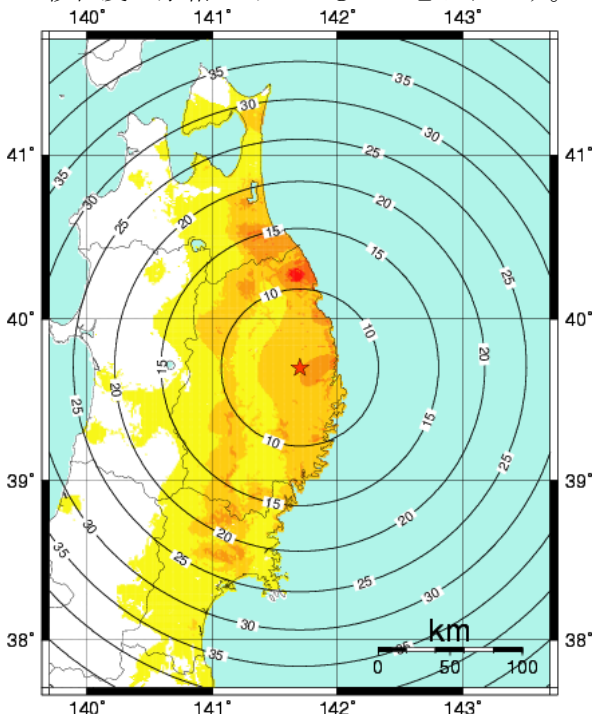
ますと、地震数は 1 割程度多かったものの、発信数はほぼ同数でした。

また、推定震度 4 以上と報じた地震数は、6 個と平均数 7.6 個に比べてやや少なめでした。

【岩手県沿岸北部の地震】

2008 年 7 月 24 日 00 時 26 分頃に岩手県沿岸北部の深さ 108km でマグニチュード (M) 6.8 の地震が発生しました。

高度利用者向け緊急地震速報の第 1 報は、地震波検知の約 4 秒後に発表されましたが、この地震の震源の深さはやや深かったため、震央から半径約 50km の範囲では主要動が到達するまでに約 10 秒程度の余裕があったものと思われます。



この地震で、岩手県洋野町（ひろのちょう）で震度 6 強、青森県八戸市（はちのへし）、五戸町（ごのへまち）、階上町（はしかみちょう）、岩手県野田村（のだむら）で震度 6 弱が観測され、多数の負傷者、家屋の一部破損などの被害が生じました。

気象庁では、震度 6 強を観測した「岩手洋野町大野」観測点付近において、人体感覚と屋内の状況を中心に聞き取り調査を行った結果、「這って歩くこともできなかった」「歩くのは厳しかったのでベッドにしゃがみこんだ」などの証言があり、「震度階級関連解説表」と比較すると、震度 6 弱～6 強相当の揺れを感じていたことがわかりました。

また、震度 6 弱以上が観測された 6 地点の震度計を調査した結果、地震による特段の異常はありませんでしたが、震度 6 強を観測した「岩手洋野町大野」の震度観測点については、設置台と地面との間に僅かな隙間が見られました。そこで、今後の震度観測の万全を期すため、現在の岩手県が設置した震度計に代え、臨時に設置した震度計の震度データを地震情報で発表することとし、7 月 25 日から運用を開始しました。

震度 5 強以上の気象庁観測点の地震波形（加速度波形）の特徴は、一部の観測点を除き、周期 1 秒～2 秒の周期に比べると、それよりも高周波（1 秒～0.1 秒）の地震波が卓越して観測されています。このため、震度の大きさに比べると木造家屋の被害が少なかったものと考えられています。

震度 4 以上を発信または観測した地震 (2008 年 7 月)

日	時分	地域名	深さ (km)	マグニチュード	速報発信数	速報最大震度 (最終報震度)	観測最大震度 (地点数)
01	20:17	岩手・宮城内陸地震余震	2	M4.3	12	4(3)	3(1)
05	16:49	茨城県沖	50	M5.2	6	4(4)	5-(1)
08	16:42	沖縄本島近海	45	M6.1	10	5-(5-)	5-(1)
14	19:41	千葉県東方沖	28	M3.6	5	5-(2)	2(1) 注)
19	11:39	福島県沖	32	M6.9	9	4(4)	4(19)
21	20:30	福島県沖	27	M6.1	9	3(3)	4(5)
24	00:26	岩手県沿岸北部	108	M6.8	9	5-(5-)	6+(1)

注) 気象庁は、7月14日、茨城県沖に発生した地震の予測震度を過大に評価し、誤った緊急地震速報を発表しました。その経緯などの詳細については、マンスリーレポート前号 (2008年7月号) を参照してください。